まちづくり交付金 事後評価シート 吉野地区

平成20年12月

鹿児島県鹿児島市

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 鹿児島県 | | 市町村名 | | 鹿児島市 | | 地区名 | | 吉野地区 | | | 面積 | 255.1ha | | | |
|--|---|--------------------------------------|--|-----------------|-------|------------------------------|---------|---|---|----------------|-------|--|---|-----------------------|---------|--|
| 交付期間 | 平成16年度~20年度 | | 事後評価等 | 事後評価実施時期 平成20年度 | | | 交付対象事業費 | | | 4,410.2百万円 国費率 | | 0.4 | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に | | 事業名 | | | | | | | | | | | | | |
| | 位置づけ、 | 基幹事業 | 公園(2号公園、3号公園、4号公園)、高質空間形成施設(緑道整備)、土地区画整理事業(吉野地区) | | | | | | | | | | | | | |
| | 実施した事業 | 提案事業 | なし | | | | | | | | | | | | | |
| | 当初計画 | | 事業名 | | | | | | 削除/追加の理由 | | | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | |
| | から | 基幹事業 | 公園(1号公園 | 、6号公園) | | | | | 土地区画整理事業の進捗状況から、計画期間内の整備が困難となったため、交付対象事業から1号及び6号公園を削除した。 | | | | 指標3の「公園(避難場所)までの平均距離」が未達成である。 | | | |
| | 削除した 事業 | 提案事業 | なし | | | | | | | | | | | | | |
| | 新たに追加し | 基幹事業 | 公園(7号公園:実施設計) | | | | | | 土地区画整理事業の進捗状況から、7号公園の実施設計を追加した。 | | | | 指標3の「公園(避難場所)までの平均距離」が未達成である。 | | | |
| | た事業 | 提案事業 | 高齢者福祉センター吉野・北部保健センター建設事業 吉野第二地区(仮称)土地区画整理事業調査(環境影響評価) | | | | | 本市北部での保健福祉サービスの向上、防災性の向上と住環境の 改善を図るため追加した。 | | | | 指標4の「高齢者の生きがいと健康づくりの為にセンターを利用する人数」、 指標5の「健康づくり活動の拠点施設(保健センター)までの所要時間」を追加 した。 | | | | |
| | 交付期間 の変更 | | 平成16年度~平成20年度 平成 年度~平成 年度 | | | 交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響 | | | | | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況 | | 変 更指 標 | | | 従前 | 2 | 目標 | | 数 | 値 | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因 | | フォローアップ | |
| | | | | 単位 | | 基準年度 | | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度 | 達成見込み | (総合所見) 土地区画整理事業区域内において、 | 送吸敷烘 (十卦面) | 予定時期 | |
| | 指標1 緊急車両が離 路の割合 | | 離合できる道 | % | 66 | H15 | 89 | H20 | | 83 | Δ | あり なし ● | どおりに進まなかったが、大部分の 急車等の緊急車両が離合できる幅 | 直路で消防車や救 員が確保された。 | 平成21年5月 | |
| | 指標2 | 歩行環境に不満を感じてい る世帯の割合 | | % | 76 | H15 | 20 | H20 | | 17 | 0 | あり なし | 土地区画整理事業区域内の歩車道 全施設や緑道の整備が進み、地域位 対する安心感や満足度が高まった。 | 主民の歩行環境に | 平成21年5月 | |
| | 指標3 | 公園(避難場 均距離 | 所)までの平 | m | 1,034 | H16 | 182 | H20 | | 289 | Δ | あり なし ● | 土地区画整理事業区域内において、 どおりに進まなかったが、区域西側でし、コミュニティの場となる公共空間と 所が確保された。 | で公園整備が完了 | 平成21年5月 | |
| | 指標4 | 高齢者の生きがいと健康づく りの為にセンターを利用する 人数 | | Д | 872 | H16 | 80,000 | H20 | | 138,468 | 0 | あり なし | 地域住民の身近なところに高齢者の がい・健康づくりを支援する拠点施設 部地域の福祉サービスが向上した。 | | 平成21年4月 | |
| | 指標5 | 指標5 健康づくり活動の拠点施設(保健センター)までの所要時間 | | 分 | 30 | H17 | 13 | H20 | | 13 | 0 | あり なし | 地域住民の身近なところに地域の健康情報発信の拠点となる施設が完成 の充実が図られた。 | 康づくり活動や健 ばし、保健サービス | | |
| | | | 1 当 | | | 目標値 | | 数值 | | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因 | | フォローアップ | | |
| 3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況 | 指標 | | | 単位 | | 基準年度 | 年度 目標 | | モニタリング | 評価値 | 達成度※1 | 達成見込み | (総合所見) 土地区画整理事業区域内の道路や | 歩道が整備された | 予定時期 | |
| | その他の 数値指標1 | その他の 数値指標1 住居付近の道路 感じている世帯 | | % | 73 | H15 | | | | 23 | | | ことにより、地域住民の道路幅員に対 | 対する満足度が高 平成21年5月 | | |
| | その他の 数値指標2 | | | % | 57 | H15 | 5 | | | 15 | | | 土地区画整理事業区域内の公園や ことにより、災害時の避難場所の確信 善され、防災面で不安を感じる世帯のた。 | 呆、避難経路が改 | 平成21年5月 | |
| | その他の 数値指標3 | | | % | 73 | H15 | | | | 20 | | | 土地区画整理事業区域内の公園が より、子供たちが安心して遊べる場所 が確保され、地域住民の満足度が高 | 斤、コミュニティの場 | 平成21年5月 | |
| 4)定性的な効果 発現状況 | ・宅地の利用増進とともに、良好な住環境の形成が図られた。 ・消防車や救急車等の緊急車両の通行が可能となり、到着時間の短縮も図られ、市民の安心・安全に貢献した。 ・良好なまち並みが形成されるなど、都市景観が向上した。 ・商業施設や病院の立地が進み、市民生活の利便性が向上した。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | | | 実施内容 都市再生 | | | | | | 実施状況 とは 実施できた としま まんしょ 実施できた | | | 今後の対応万針等 | | | | |
| | モニタリング | | なし 数十章 | | | | | 都市再生型 都市再生型 都市再生型 | を備計画に記載し、実施できた 整備計画に記載はなかったが、実施した 整備計画に記載じなかったが、実施した | | | | | | | |
| | 住民参加プロセス | | 公園設計にかかる住民アンケート調査 | | | | | 都市再生翌 都市再生翌 都市其生翌 | ・備計画に記載し、実施できた 「備計画に記載はなかったが、実施した 地域 「備計画に記載したが、 単施できながった | | | | 住民の意見を反映したまちづくりに努める。 | | | |
| | 持続的なまちづくり 体制の構築 | | 都市 都市 都市 | | | | | 都市再生型 都市再生型 都市再生型 | 整備計画に記載し、実施できた 整備計画に記載はながったが、実施した 整備計画に記載したが、実施できながった | | | | | | | |

様式2-2 地区の概要 吉野地区(鹿児島県鹿児島市) まちづくり交付金の成果概要 まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 目標値 評価値 緊急車両が離合できる道路の割合 単位:% 66 H15 89 H20 H20 歩行環境に不満を感じている世帯の割 単位:% 76 H15 20 H20 H20 大目標 機能的で多彩な交流が広がるまちづくり 目標1 交通環境改善を図ることにより安全で快適なまちづくりを行う。 公園(避難場所)までの平均距離 182 H20 289 H20 単位:m 1,034 H16 目標2 公園、緑道を整備することにより良好な都市景観の形成並びに地域コミュニティの場を提供する。 目標3 高齢者の健康づくりや生きがいづくりを支援するとともに、市民の健康づくり活動の拠点となる施設を提供す 高齢者の生きがいと健康づくりの為にセ 単位:人 80,000 H20 138,468 H20 872 H16 ンターを利用する人数 健康づくり活動の拠点施設(保健セン 単位:分 30 H17 13 H20 H20 ター)までの所要時間 THE REPORT OF THE PARTY OF THE ■基幹事業 □提案事業 土地区画整理事業 高齢者福祉センター吉野(仮称)・北部保健センター(仮称)建設事業 ■基幹事業 公園 口提案事業 吉野第二地区(仮称)土地区画整理事業調査 (環境影響評価) 吉野山学校 吉野地区土地区画整理事業 吉野支所 高質空間形成施設(緑道) 吉野第二地区(仮称) 施行区域(案) 約67ha 〇関連事業 公共下水道整備事業 ■基幹事業



・土地区画整理事業区域内において主要地方道鹿児島吉田線の一部区間の整備により交通渋滞が緩和され、また、区域内の大部分の道路で消防車や救急車等の緊急車両が離合できる幅員が確保されるなど、安全性と防災性が向上したが、主要地方道 鹿児島吉田線の未整備区間の交通渋滞や緊急車両の離合が困難な道路が残されている。

〇関連事業

200

吉野第二·第三地区(仮称)土地区画整理事業調査

1000

高齢者福祉センター・北部保健センター建設事業

(環境影響評価以外の調査)

まちの課題の変化

・土地区画整理事業区域内の西側で3公園の整備が完了し、コミュニティの場となる公共空間と災害時の避難場所が確保されたが、区域内の東側には整備すべき公園が残されている。

・地域住民の身近なところに高齢者の相互交流や生きがい・健康づくりを支援する拠点施設「高齢者福祉センター吉野」と地域の健康づくり活動や健康情報発信の拠点となる「北部保健センター」が完成し、本市北部地域の福祉サービスの向上と保健サービ スの充実が図れた。

高質空間形成施設

・土地区画整理事業の進捗に伴い、住宅地周辺の交通量が増加してきているため、交通安全施設を整備するなど、歩行者や車両通行の安全性の確保が必要となってきている。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む) ・各種事業により改善された良好な住環境を維持するため、市民と協働した公共施設の維持管理に努める。

・高齢者福祉センターが、今後も高齢者の相互交流や生きがい・健康づくりを支援する拠点施設として利用されるよう、引き続き各種講座を開催するなど、適切な管理運営を行っていく。保健センターについても地域の健康づくり活動や健康情報発信の拠点と して更なる機能充実を図る。

・吉野地区土地区画整理事業区域内において主要地方道鹿児島吉田線の未整備箇所での交通渋滞や、緊急車両の離合が困難な道路が残されていることから、土地区画整理事業により交通環境の改善など居住環境良好な市街地の形成を図る。

・吉野第二地区(仮称)土地区画整理事業予定区域では、地域住民のコミュニティの場や避難場所として機能する公園の不足など、都市基盤が十分でない箇所が残されていることから、事業実施に向けた調査を行う。

・土地区画整理事業の進捗に伴い、住宅地周辺の交通量が増加してきていることから、歩行者や車両が安全かつ快適に移動できるよう交通安全施設の整備を図る。